

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の 共通理解と 全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てるようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 園内研修など、年間を通して定期的に読み合わせやテストを実施し、共通理解できるよう図っている			
	【課題・対策】 スタッフの雇用形態によっては園内研修への参加がないため、議事録等を活用し、偏りがないように、共有していく。			
子どもの発達や 状況に応じた 適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担任が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共有・交換のために保護者用アプリ『コードモン』の連絡ノート機能でコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか	A	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 入園前の面談での聞き取りや、提出書類等をスタッフ間で情報共有し、また、入園後に補遺行く園生活に必要な情報を保護者へ共有し、ご家庭での生活に取り入れてもらい、保育園生活が少しでもスムーズに開始できるよう工夫している。 入園後にも、子どもたちの様子や体調など、毎日の昼礼で全体周知を図り、担任以外のスタッフも情報共有している。			
	【課題・対策】 入園前面談が、次年度担任確定前のタイミングでの実施になることが多いため、入園前面談シートを作成し、保育していく上で知っておきたい情報を確実に聞き取り、伝達できるよう工夫している。またシートを事前に共有し、項目の変更なども随時行っている。			
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がなされているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 年齢や発達を考慮した配置や玩具を提供している。また、定期的な見直しを行いよりよい環境への改善を図っている。			
	【課題・対策】 朝・夕の合同保育時は、保護者対応等もあり、ゆったりと関わるのが難しく、異年齢合同でもあるため、年齢に合わせた環境作りが難しい。 可能な限り、年齢別で過ごせる時間を確保できるよう務めている。			
一人一人の子どもに 個別に対応する 努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか	A	0～2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか	A	成長発達記録・園児健康診断記録表・健康カルテ等、必要書類をコードモン内に記録をし、全職員で情報共有をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 月毎、週ごと、日ごとで、クラス担任が発達などについて話し合い、個別の計画を作成している。また、必要に応じて昼礼や会議などで全体周知を図っていることで、共通認識し、保育に生かすことが出来る。昼礼の記録をデジタル化したことにより、ニュアンスなどの詳細についての正確さが増した。			
【課題・対策】 勤務時間によっては、関わりが少なくなってしまう子どもがいるケースもあるため、勤務交代をするなどの工夫をして状況把握に努めるようにしている。				

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧にしている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもがわかるよう対応をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 毎日の昼礼で情報共有ができており、また、受け入れ時の視診はどのスタッフが受け入れても問題がないよう、視診の方法をマニュアル化し、スタッフ間で周知・共有している。			
苦情解決体制	【課題・対策】 アレルギーの種類が多様になり(給食提供のない食材のアレルギーや、食物以外も含め)注意が必要なため、保護者の方にも、園への飲食物や保育に必要なものの持ち込みは遠慮いただくよう厳しく願っている。			
	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコドモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 日常的に保護者との会話を増やし、ちょっとしたご意見などを言いやすい環境を心がけている。また、行事や何か変更などがある場合には、事前にしつかりと理由を説明することで、納得しやすい工夫をしている。 運営委員を最低数の2名ではなく各クラス1名(計6名)選出している。運営委員会前にアンケートを配信し、ご意見に対してしっかりと応えできるよう努めている。また、運営委員会や行事後のアンケートのご意見を元に、改善に務めている。			
	【課題・対策】			
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができているか	A	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 園独自のプログラムに取り組んでいる。 園庭に畑を作り野菜やお芋などの栽培を行っている。幼児クラス(年中・年長)は園外のお芋畑にお芋ほりに行くなどがあるが、年少クラスは園庭の畑のお芋でお芋ほりごっこなどを実施している。			
保育内容(生活)	【課題・対策】 幼児クラスは近隣保育園との交流など、年間を通して実施ができるようになった。			
	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事量に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコドモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 食事の際に、クラス毎だけではなく、他クラスと一緒に食することで刺激を受け、意識の向上に繋がるような環境を作っている。 トイレトレーニングは、個々の状況をみながではあるが、0歳児後半から少しずつトイレへの興味を持てるよう働きかけ、保護者の方と共有しながら、2歳児を目安として進めている。			
	【課題・対策】 ご家庭での睡眠時間に差があるため一律での午睡時間が難しい場合もあるが、子どもの睡眠時間については発達に関わってくるため、十分に確保できる環境を、個人面談で年齢に合わせた睡眠時間をお伝えするなど、ご家庭と連携しながら整えている。			

項目	番号	内容	評価	実施していること
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	園児健康診断記録表や健康カルテに、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 視診時に、保育者等と保護者として情報を共有できるよう、時間に余裕を持って登園いただけるようお伝えしている。 嘔吐処理手順など、園内で共通理解できるよう、園で動画を作成し、スタッフがいつでも手順の確認ができるようにしている。 園内掲示（場合によりコドモン配信）にて、感染者の発生や感染者数の経緯、感染症の症状などの必要な情報を保護者に周知して、注意喚起に繋げている。			
	【課題・対策】 感染症流行の兆しを認めた場合は、保護者に向けて、感染者数やどんな症状が見られるか、登園可能となる目安、必要な書類などをお知らせするとともに、ご家族に罹患があった場合の体調の観察、ご家庭での保育のご協力など、状況に合わせた情報提供をして、保護者の方にも、感染症対策についてご協力いただいている。			
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 トイレや玩具消毒について、消毒（掃除）の有無がわかりやすいよう、リストやカードを使って可視化している			
	【課題・対策】			
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コドモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 抜き打ちで不審者対応訓練を行い、現在の園の課題点について全員で考える機会を持つなど、スタッフの意識を高めることができた			
	【課題・対策】 今後も想定幅を広げ、様々な事象に対応できる対応力を身に付けていく必要がある			
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合って決めている。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 定期的に人権擁護に関する研修やセルフチェックを実施し、自身の保育の振り返りをして意識を高めている。			
保護者との交流・連携	【課題・対策】 プライバシーの確保や、性差の考え方の差別と区別について、保育を行う上で難しいと感じているスタッフが多いため、引き続き研修を行ったり、お互いの保育の気づきを話し合う機会を作っていく。			
	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1～2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 園内で個々の情報共有を頻繁に行っていることで、担任以外のスタッフでも保護者との関係が作りやすく、保護者との連携が取りやすくなっている			
	【課題・対策】 保育園での保育に対する理解を深めていただき、ご家庭との連携をより深めていくため、進級説明会時に年齢に合った発達程度など、保護者の方にも知っていただく機会を作った。			

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	B	積極的な育児相談のみの機会を作ることが出来ていない
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 園見学の際に、保育園での生活に必要な情報をお伝えしたり、健康、生活などの相談に乗っている。		
		【課題・対策】 地域に向けて、積極的なアナウンスをしていく。		
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応をしている。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 主に、年長クラスが近隣園や系列園との交流を実施している。近隣園との交流は年間を通して複数回実施しており、小学校入学に向けての関係づくりも視野に実施している。		
実習生・ボランティアの受け入れ		【課題・対策】 地域周辺の保育園の数がかなり多いことから、小学校との交流の機会を持つことや増やすことが難しい状況にあるが、小学校の先生が園に視察にいらして様子を見学してくれるなど、少しずつ小学校との交流もしやすくなっている。		
	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	A	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 希望があった場合には、可能な限り入り受け入れを行っている。また、子どもたちからはスタッフと同じような存在となるため、受け入れ前のオリエンテーションをしっかりと行い、子どもたちと接してもらえるよう配慮している。今年度はイベントや一日実習などの受け入れもできた。		
職場の人材育成		【課題・対策】 今後も積極的な受け入れを行っていきたい また、スタッフの採用に繋がられるよう、スタッフからの意見も参考に(媒体の活用方法など)提案している。		
	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
職員の技術の向上		【地域・園に応じた独自の取り組み】 育成者の育成体制や、新人育成に関して、必要な内容を可視化して、偏りや抜けのない育成に取り組んでいる。また、園内研修の際には、スタッフ自身で必要な研修を考えて実施する時間を設けるなど、当事者意識をもって自ら考え、園をよりよくしていくための意識向上にも取り組んでいる。 課題と感じられる事象などがあった場合は園内研修で全体周知や研修を実施する。		
	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
経営管理		【地域・園に応じた独自の取り組み】 個人目標を設定し、年間を通して見守りを行い、面談時に成果や修正・改善点を確認し合う時間を作っている。 園全体に関しての目標などを明確に示し、リーダー層が理解して日々の保育や育成に反映させられるよう組織作りを進めている。 リーダー層が育成対象者の目標を知って、日常的に振り返りを行う体制を作った。		
	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報を入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
		【課題・対策】 他園や報道等で保育に関わる事件や事故があった場合には、全職員にその内容と自園の対応策について検討、周知している。		
園目標や自己評価結果に対しての反省・課題(事業報告書へ)		【課題・対策】 リーダー層からさらにその先への意識の浸透を目指していく。		
		園目標「自主性・積極性の向上+行動力」 現状維持で満足することなく、さらにより良い園を目指し、様々な場面で新しいことに積極的にチャレンジすることのできた年度となった。 リーダー層だけでなく、全スタッフの変化に対する抵抗が少なくなり、自ら考えて新しいアイデアを発信したり、まず試してみようとする姿勢が活発に見られるようになった。自らの発案が形になる経験をしたスタッフが増え、小さなことなども含め、提案が増えた。スタッフの園運営に対する意識の向上にも繋がり、これにより、クラス運営や行事の運営の課題に対する対応も早くなり、改善に繋がれることが増え、保護者の方からも、変化を感じるとの声をいただけるまでになった。 今後も、継続してスタッフの自主性や積極性を尊重できる園づくりをしていくとともに、保護者とともに園を育て、子どもたちの将来まで想像しながら、保育の質の向上を目指していくことで、園に携わるすべての人(子ども・保護者・スタッフ)の人間力の向上に向けて取り組んでいく。		